

## 北上川ダム統合管理事務所 地震情報（第8報） ～石淵ダムコンクリート表面遮水壁継ぎ目部の 潜水調査を実施～

6月14日8時43分頃発生した「平成20年 岩手・宮城内陸地震」により、北上川ダム統合管理事務所では、災害対策体制「非常体制」を設置し、引き続き警戒にあたっております。

この地震により、ダム堤体に変状が確認された石淵ダムにおいて、本日（6月16日）、コンクリート表面遮水部の継ぎ目部分の水中潜水調査をしました。

その結果、ダムの安全性に影響を与えるような亀裂はなく、水の吸い込み等の現象も認められませんでした。

しかしながら、ダム中央部の約60m区間で、標高310m付近に、表面遮水壁を覆うモルタルが、一部、水平方向にはく離していることが確認されました。

今後も地上や船上からの目視監察を継続するとともに、漏水量等を計測するなど、引き続き、厳重な観測・監視体制を続けていきます。また、水位を下げて、はく離しているモルタル箇所の補修に取り組む予定です。

6月14日8時43分頃発生した岩手県内陸南部を震源とする「平成20年 岩手・宮城内陸地震」により、岩手県内陸南部では震度6強の揺れが発生し、北上川ダム統合管理事務所では、14日8時43分に東北地方整備局災害対策ダム統管支部「非常体制」を発令し、警戒にあたっております。

東北地方整備局では、この地震により、北上川ダム統合管理事務所で管理する5ダムのうち、最も震源に近い石淵ダムにおいて、ダム堤体に変状が認められたことから、14日16時45分に石淵ダム現地対策本部を設置して対策にあたっております。

この地震による石淵ダムの復旧対策を検討するため、本日（6月16日）コンクリート表面遮水部の水中潜水調査をしました。

その結果、ダムの安全性に影響を与えるような亀裂はなく、水の吸い込み等の現象も認められませんでした。

しかしながら、ダム中央部の約60m区間で、標高310m付近に、表面遮水壁を覆うモルタルが、一部、水平方向にはく離していることが確認されました。

今後も、北上川ダム統合管理事務所では、地上や船上からの目視監察を継続するとともに、漏水量等を計測するなど、引き続き、厳重な観測・監視体制を続けていきます。また、水位を下げて、はく離しているモルタル箇所の補修に取り組む予定です。

ダムに関する情報につきましては、当事務所のホームページでご覧いただけます。  
ホームページ URL <http://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/>

<発表記者会：岩手県政記者クラブ>

問い合わせ先
国土交通省 北上川ダム統合管理事務所 管理第一課長 丸山 雄吉 調査課長 大塚 勝章 TEL 019-643-7831